

防 災 講 演 会

大規模災害 に備える



～いざという時、必ず役に立つ日頃の準備とは～

平成30年

5月26日 土

10:30～12:00 (開場10:00)

会場

グリーンスタジオ

(生涯学習センター 2階 メディアパーク市川)
市川市鬼高1-1-4

定員

先着200名 (要申込)

受付期間:平成30年4月23日(月)～5月25日(金)
ただし、定員(200名)になりしだい受付終了となります。

アクセス



【陸上自衛隊需品学校長の経験を活かして】

需品科は、震災や自然災害が発生するたびに被災地に赴き、被災者の生活を支援するあらゆる活動を最前線で行います。仮設お風呂の設営、温かい食事の準備、衛生環境を守るための洗濯に至るまで、需品科は絶望の底にある人達のため常に静かに寄り添います。



講師

福岡市危機管理監

いまがね はじめ

今金 元氏

昭和35年6月生まれ、昭和58年防衛大学校(国際関係論)を卒業し自衛隊に入隊。

平成16年10月に起こった中越地震に際しては、自衛隊の指揮官として、山間集落に孤立する山古志村の住民約2000名を警察・消防等各機関と連携してヘリコプターで救出する作戦を指揮。後に、この時の出来事を元に「マリと子犬の物語」という映画が制作された。

自衛隊在職間は、中越地震の他にも、三宅島噴火に伴う全島避難、スマトラ島沖地震、イラク復興支援活動、東日本大震災、熊本地震等多数の防災・危機管理事案等に対応。

平成26年7月から28年3月まで、陸上自衛隊需品学校長及び松戸駐屯地司令として市川市を含む千葉県北西部8市の災害派遣を担任。平成29年3月に自衛隊を退職し同年5月に福岡市危機管理監に就任。

現在は、福岡市の危機管理監として、福岡市全域で全市民等を対象としたミサイル発射への対応訓練を行うなど福岡市民の安全・安心の向上に尽力する一方、九州市長会の広域防災統括官として、地方自治体間の大規模災害への初動対応態勢を整備し、九州・沖縄地方全域の安全・安心にも貢献している。

入場

参加無料 参加者全員に記念品をプレゼント!

問い合わせ

市川市 地域防災課

☎ 047-704-0065

主催:市川市自治会連合協議会 共催:市川市